

第15回 しあわせ倍增・行革推進プラン市民評価委員会 次第

日時：平成28年 8月25日（木）

午後6時30分～午後8時30分

場所：浦和コミュニティセンター第14集会室

1 開会

2 議事

(1) 重点審議事業の審議について

3 その他

[配布資料]

- ・ 次第
- ・ 資料1 重点審議調書（地域若者サポートステーションの設置）
- ・ 資料2 重点審議調書（ひきこもり支援の拡充）

重点審議調書

| | | | |
|----------|---------------------|---------------|---|
| 事業番号・事業名 | 8 地域若者サポートステーションの設置 | H27年度 内部評価 | B |
|----------|---------------------|---------------|---|

| | |
|----|-----------------|
| 担当 | 経済局・商工観光部・労働政策課 |
|----|-----------------|

<平成27年度数値目標に対する>

達成状況

地域若者サポートステーション事業をはじめとする各種若年者就業支援を実施し、145人の就職等進路決定者数を達成しました。

- <事業毎内訳> ①地域若者サポートステーション事業 109人
②民間就職情報サイト活用型採用支援事業 19人
③若年者就職支援事業 17人

達成方法（手段）

- ①では、国の設置するサポートステーションと連携し、心理相談や職業体験を実施し支援しました。
②では、若年求職者が多く利用する求職サイト内に、当市や市内企業の魅力を発信し、また掲載企業に対し、採用・定着活動全般に係るノウハウの習得・蓄積を支援しました。
③では、基礎的な研修と市内企業等での就業体験による研修を組み合わせた支援をしました。

工夫した点

- ③については、社会経済情勢を鑑み、支援対象者を求職者のみならず、非正規などの安定した仕事に就けずにいる者に広げました。また、就職者数を増加させるため、「さいたま市リーディングエッジ企業」「さいたま市CSRチャレンジ企業」及び「さいたま市の誘致活動により市内に立地した企業」へも広く周知し支援対象者の実習受入を促しました。
①については、サポートステーションの認知度を上げ、就職等の進路決定者数を増加させるため、市でちらしを作成しました。

平成28年度に向けての課題・分析による改善点

平成27年度に実施した就業等実態調査の結果より、当市においては非正規の若年者の転職希望率が高く、不本意な形で非正規を続けている者が多いことが判明しました。そのため、若年者就職支援事業の支援対象者を35歳未満まで広げ支援していきます。

評価委員が考える問題点

評価委員が考える問題解決への意見

評価委員会からの意見・提案に対する担当課の所見

事業を達成する上での関連事業

重点審議調書

| | | | |
|----------|--------------|---------------|---|
| 事業番号・事業名 | 9 ひきこもり支援の拡充 | H27年度 内部評価 | A |
|----------|--------------|---------------|---|

| | |
|----|----------------------|
| 担当 | 保健福祉局・保健部・こころの健康センター |
|----|----------------------|

<平成27年度数値目標に対する>

| |
|--|
| 達成状況 |
| ひきこもりの方やその家族を支援するリレートサポーターを年71回派遣しました。 |
| 達成方法（手段） |
| 平成27年5月からひきこもり当事者への訪問、相談機関や居場所への外出支援、家族への支援のため、年間を通し7人の対象者へ、延べ71回サポーターを派遣しました。 6月と1月に、サポーターフォローアップ研修を実施し、事例の共有や情報交換を行いました。 |
| 工夫した点 |
| 派遣は対象者の同意の元開始し、対象者の希望に合わせた支援内容を行いました。 職員がリレートサポーターのフォローアップを行い、より良い支援を行うことで、市民サービス向上につなげました。 実施マニュアルを作成し、効率的に業務を行いました。 サポーターの訪問には電動自転車を活用し、交通費の削減をしました。 訪問先とセンター間の交通の便が悪い場合、訪問後のサポーターの報告は書類や電話でも対応することにより、サポーターの負担を軽減し、効率的に事業を実施しました。 |
| 平成28年度に向けての課題・分析による改善点 |
| 養成研修を年1回実施し、サポーターを10名養成する予定です。 サポーターを100回派遣する予定です。 サポーターフォローアップ研修を年2回実施予定です。 |

| |
|--------------------|
| 評価委員が考える問題点 |
| |

| |
|-------------------------|
| 評価委員が考える問題解決への意見 |
| |

| |
|--------------------------------|
| 評価委員会からの意見・提案に対する担当課の所見 |
| |

| |
|-----------------------|
| 事業を達成する上での関連事業 |
| |